問題は全て、inputOO.php と outputOO.php を作成する。(OO は問題番号を2桁で付与。) inputOO.php は入力フォーム、outputOO.php は結果表示用画面になる。
※今回は inputOO.php を使用しない物もあるので、注意する事!!

- 21.2 次元配列を表の形式で表示する。
 - (ア) input.php
 - ① 使わない。
 - (1) ada.tuatuo
 - ① 用意された2次元配列を表の形式で表示する。
- 22.2次元配列から対象のデータを探し出し表の形式で表示する。
 - (ア) input.php
 - ① id を入力するテキストボックスを作成し、output.php に送信する。
 - (1) ada.tuatuo
 - ① 送られてきた id に合致するデータを探し出し、見つかった場合は対象のデータのみを表の形式で表示する。見つからなかった場合は、「対象のデータがありません。」と表示する。
- 23.2 次元配列から対象のデータを探し出し表の形式で表示する。
 - (ア) input.php
 - ① id を入力するテキストボックスを作成し、output.php に送信する。
 - (イ) output.php
 - ① 送られてきた id に合致するデータを探し出し、見つかった場合は対象の行の背景色を赤系の色で塗りつぶす。見つからなかった場合は、一覧表の上に「対象のデータがありません。」と表示する。
- 24.2 次元配列から対象のデータを探し出し表の形式で表示する。
 - (ア) input.php
 - ① 氏名(漢字)の一部を入力するテキストボックスを用意し、output.php に送信する。
 - (1) ada.tuatuo
 - ① 送られてきたテキストに部分一致するデータを探し出し、見つかった場合は対象のデータのみを表の形式で表示する。見つからなかった場合は、「対象のデータがありません。」と表示する。
- 25.2 次元配列から対象のデータを探し出し表の形式で表示する。
 - (ア) input.php
 - ① 氏名(漢字)の一部を入力するテキストボックスを用意し、output.php に送信する。
 - (イ) output.php
 - ① 送られてきたテキストに部分一致するデータを探し出し、見つかった場合は対象の行の背景色を赤系の色で塗りつぶす。見つからなかった場合は、一覧表の上に「対象のデータがありません。」と表示する。

- 26.2 次元配列を年齢の昇順に並べ替え、表の形式で表示する。
 - (ア) input.php
 - ① 使わない。
 - (イ) output.php
 - ① 2次元配列を年齢の昇順に並べ替え、表の形式で表示する。
- 27.2 次元配列を年齢の降順に並べ替え、表の形式で表示する。
 - (ア) input.php
 - ① 使わない。
 - (イ) output.php
 - ① 2次元配列を年齢の降順に並べ替え、表の形式で表示する。
- 28.2 次元配列を表の形式で表示する。
 - (ア) input.php
 - ① 使わない。
 - (イ) output.php
 - ① 2次元配列を表の形式で表示する。ただし、血液型ごとに背景色を変えて表示する。